



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒 111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」  
R.I. 会長 ロン D・バートン  
地区ガバナー 吉 田 建 二  
クラブテーマ 「参加し行動しよう」  
クラブ会長 藤 掛 靖 元



## 本日の卓話

イニシエーションスピーチ  
宮崎守弘 君、内田 力 君

## 今後の卓話予定

3/12 葛飾東合同例会  
3/19 「時代と共に歩むロータリーの友」  
ロータリーの友編集長 東京築地ロータリークラブ会員 二神典子 様  
3/26 イニシエーションスピーチ 河村英朗君  
「健康の話」 田村順二君

2014 年 3 月 5 日

第 1351 回例会

会長 藤 掛 靖 元  
幹事 伊 石 佳 高



3 月お誕生日祝 9 日 (74 才) 大塚 清君 20 日 (65 才) 長沼一雄君

## 前々回 (2/19 1349 回例会) の記録 地区大会 (京王プラザ)

### 2/19 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 0名  
◆ビジター 0名

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
47 名	3 名	4 名	34 名	6 名	85.00%	1347 回例会修正 欠席 6 名・出席率 86.05%

## 前回 (2/26 1350 回例会) の記録

### 2/26 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 2名 杵屋彌太郎 様、日吉小八郎 様  
◆ビジター 1名 東京リバーサイド R.C. 栗原正雄 様

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
47 名	3 名	4 名	35 名	7 名	83.33%	1348 回例会修正 欠席 6 名・出席率 86.05%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <藤掛会長>

・地区大会も終わり、本年度も残すところあと 4 か月となりました。一方で次年度に向けての始動が本格的になって参ります。まだまだ 4 か月もあるぞ、と思いい

つ一つの例会を楽しみつつしっかりとこなしていきたいと思えます。次週の例会ですが、社員研修旅行の為欠席いたします。会長代行を再び原田直前会長にお願い致しております。よろしくお願ひ致します。

## 幹事報告<伊石幹事>

- ・来週、例会終了後、第9回理事・役員会を行います。理事・役員の皆様はご出席の程、お願い申し上げます。欠席の場合は委員会内での調整をお願い致します。

- ・先月の地区大会の御礼状がガバナー事務所より届いております。
- ・例会場の変更のお知らせが来ております。クラブ事務所にてご確認ください。
- ・3月のロータリーレートは1ドル102円です。

## 委員会報告

### <会長エレクト 尾泉委員>

- ・本日例会終了後、「第2回 被選理事・役員会」を開きますので、出席の程宜しくお願いします。

### <親睦活動委員会 浜中委員長>

- ・本日、6時30分より今半さんで、新入会員歓迎会を行います。忘れずにご参加下さい。

3月10日月曜日に行われます「30周年記念第28回コンサート」と浅草ロータリークラブ50周年記念例会（4月14日 月曜日）の出欠席を取らせて頂きます。

### <社会奉仕委員会 上野委員長>

- ・「ロータリーの友」3月号16ページに復興市の記事が掲載されております。是非ご一読を！

## ニコニコボックス

### <藤掛、伊石>

- ・杵屋弥太郎様、本日の卓話と演奏よろしくお願ひ致します。

### <山尾、海内、天笠、小林、植木、古谷、上原、小池>

- ・本日の卓話「邦楽について」杵屋弥太郎様宜しくお願ひ致します。

### <藤田>

- ・孫娘が浅草田圃西の寺長国寺の若住職に嫁ぐ事になり、先日の大安の日に結納の儀を行いました。藤田家の誉れと思い、心より喜んで居ります。

### <折原>

- ・会計であるにもかかわらず、理事会を欠席してしまい申し訳ございません。二度といたしませんのでお許し下さい。

### <山尾、大塚、宮村、原田、岩戸、松本>

- ・ソチ2014年オリンピック、日本選手メダル8個よくガンバリました。感動をありがとう。

### <斎藤、柘>

- ・小保方晴子さんSTAP細胞発見、PIS細胞と並ぶ画期的な発見、これからの研究に期待します。

### <笹生>

- ・石原元都知事の転身辞任、猪瀬前知事の疑惑辞任により任期内に血税200億円使われし都知事選。新知事は真<sup>まこと</sup>の親しみある心の都政を望みます。そこで一曲

### うたうニコニコ

♪ 二年十月で 3回選挙

頼みマスゾエ 新(真・親・心) 都政

作詞・歌唱 笹生淡水

## 「邦楽について」



唄方 日吉小八郎様・三味線方 杵屋彌太郎様

杵 屋 彌太郎 様

1970年生まれ

6歳の時、祖母の影響で長唄を始める。

8歳より東音高橋武久師に師事。

1988年 東京芸術大学音楽部邦楽科に入学。

1992年 杵屋彌四郎師に師事。

1993年 家元杵屋彌之介（現 彌十郎）より杵屋彌太郎の名を許される。

現在、長唄演奏会、日本舞踊会、歌舞伎座等に出演・「杵屋彌太郎の会」主催

長唄とは歌舞伎と共に発達した三味線音楽です。

歌舞伎は江戸時代の初頭に出雲の阿国が始めた念仏踊り等の芸能だったが、若衆歌舞伎の時代を経て今日の歌舞伎の原形である野郎歌舞伎の時代に入り、歌舞伎専門の音楽部門を担当する、三味線方と唄方に分かれた「長唄」が生まれました。歌舞伎は関西から発生したが、政治の中心が江戸に移ると共に、江戸独特の「江戸長唄」が発展しました。

歌舞伎の中での長唄は、二つの大きな仕事を担っています。

一つは舞踊の為の演奏で、舞台に出て演奏をする為、出囃子と呼ばれ、もう一つは、お芝居の効果音楽として役者の心理描写や情景描写等を舞台の下手の黒御簾という場所で客席から隠れて演奏する下座音楽、又は黒御簾音楽と呼ばれます。

以上の説明があり、「舞踊形式」の老松や「浄瑠璃」を組みこんだ大薩摩、「お能」の演目を題材とした石橋等の一部の唄と三味線の演奏がありました。

## 「○に近い△を生きる」 鎌田 實著 ポプラ新書

長年に渡り長野県の医療を支え、チェルノブイリに22年間に渡り97回の医師団を出し、約14億円の医療機器や医薬品を支援してきた鎌田医師が著した。

生き方をちょっと変えれば、人生はうんと変わる。  
これからの時代に必要な△の生き方とは？  
今の日本に必要なのは「別解力」である。  
たった一つの「正解」に縛られるのではなく  
幾つもある「別解」の中から○に近い△を見つけていきましょう。  
会社の中でも、家庭の中でも、地球の中でも、  
みんながより幸福にあたたかく回転していくために……。  
鎌田医師が意を決して新たな生き方を提案した。以下、一部抜粋。

○か×かで生きるのはもうやめよう！  
○でも×でもない、○に近い△の生き方があることに気づいてほしい。  
思い込みの△、勝手な△、時にはふしだらな△。人生とはいろいろな△を選ぶ事。自由に選べばいい。△の生き方はプロセスを重視する生き方だ。  
自由はバランスだ。自分の自由を大事にしながら、1%だけ他者の自由を尊重して生きる事。ほんのちょっと他者のことを思うことが大事。  
100%自分の自由だけを尊重すると単なるわがままになる。国と国の関係では戦いになる。たったこの1%が大事なんだ。僕は今までよく「1%は誰かのために」と言う事を言い続けてきた。自分が一番可愛い。自分のため、家族のために99%は生きてきた。でも、でも、1%だけは誰かのために、と生きてきた。  
物の見方、考え方に多くのヒントを頂ける一冊である。

## 春 秋 (日本経済新聞より 2014.2.17)

雪に慣れない首都圏はたった一日の吹雪で大混乱になる。先週末は高速道路が止まり、ダイヤが乱れた鉄道で衝突事故まで起きた。悪いニュースばかり目立つが、都会の大雪には良い点の一つある。困っているはずなのに街で会う人々が明るく生き生きとした顔になる。

▼歩行者が滑らないよう店先で雪かきに精を出す店員さんに、ありがとうの一言が素直に出てくる。駅の掲示板を見上げる赤の他人が、同じ困難と闘う「同志」になる。靴の中までぬれて冷たくて苦痛でも、すれ違う際に目が合うと、ふと笑みが漏れる。誰をも等しく襲う悪環境に遭遇すると、人は他者に優しくなるらしい。

▼3・11の時もそうだった。子供と老人が被災地で助け合い、支援者が日本全国から駆けつけた。災害時に起きやすい不正行為は、ほとんどなかった。他人の苦しみを自分の事として考える。外国から「秩序正しい日本人」と褒められたが、当事者にとってはごく自然な行動だったに違いない。あれからもうすぐ3年になる。

▼あたりの景色が雪で白く変わると、薄れかけていた大切な記憶が、色鮮やかによみがえることがある。天災は誰かのせいで起きるのではない。誰も悪くないから人は力を合わせて頑張るしかない。溶けきれぬ雪はビシビシで厄介だが、消える前に思い出しておきたい。自分が一人の力でいきているわけではないことを。